

《校長の教育理念・経営方針》

子ども一人一人の「希望へのいっぽ（一步）」を大切にす学校

全ての子どものいっぽ（よさ）を位置づけ、価値づけ、方向づけることで、自己肯定感を高める。「ふるさと学習」を核に、価値ある学校文化を創出・充実することで自校肯定感を高める。保護者には「我が子をよく見てもらっている」という安心感を届ける。子どもと保護者の安心感と希望に満ちた学校が実現すれば、職員の働きがいが高まり、子どもも教職に憧れ、教員不足の流れが緩和し、持続可能な地域創造型の岐阜小学校教育を実現することができる。

県
の
教
育

学校教育目標 「心豊かで 自ら求め 学び合う 岐阜小の子」

すすんで（自主性） 「できた」「わかった」「もっとやりたい」という願いや課題を粘り強く追求する。	なかよく（社会性） 「ありがとう」「ごめんなさい」「大好き」と、仲良く助け合って活動する。	きたえる（創造性） 「やってみよう」「くりかえそう」「つないでみよう」と、よりよい生き方を創り出す。
---	--	---

合い言葉 「ふるさと大好き」
「自分大好き」（自己承認感・自己有用感の向上） 「仲間大好き」

希望への
いっぽ
（一步）
を尊重

市
の
教
育

学校教育目標具現に向けた 重点活動（日本一の学び）

聴く（+インプット） ・話し手に、目を向け、耳を傾け、心を寄せて、最後の一言まで、全身で受け止める。 ・自分の思いや考えと比べながら聞き、聴いた話にハンドサイン等で反応する。 ・調査・探求活動等を通して情報を集めるとともに、適切な情報を選び取り、獲得する。	語る（+アウトプット） ・自分の思いや考え（自分自身）を、自分の言葉で、最後の一言まで、堂々と話し切る。 ・資料を指し示したりパワーポイントを活用したりして、わかりやすく伝える。 ・情報を活用して伝えたい内容を整理し、英語やICT機器等も駆使して、発信する。
--	---

対話
(積極的なコミュニケーションによる関わり、最適解を追求する話し合い、新たな価値を創造する練り合い)

【「自ら進んで学ぶ」力を育む授業】よさで見えていく指導の徹底、子どもと教師の視点からの「主体的・対話的で深い学び」の実現、「家庭学習」の充実、教科担任制・進学年担制による指導の充実

CS先進校として「ふるさと学習」を核にし、CSイベント等の「ふるさと共創教育」の展開とともに、「家庭学習」の充実を図るなど、学校・家庭・地域の役割の明確化によって、持続可能な「地域創造型の学校」を目指す。

学校内の運営体制（縦の系統・横の連携）＝組織で対応・協働

学習指導部会	特活指導部会	健康安全指導部会
定例に加えて日常的な企画委員会（+緊急時の臨時運営委員会）		
学年部会（低・中・高・特支）		
研究推進委員会 生活科や総合的な学習を中心に、「主体的・対話的で深い学び」とカリマネの実践		
学年部会（低・中・高） ・「ぎふMIRAI's」の展開（「ふるさと共創教育」の発展）、ロイロノート等の活用による「授業改革」、「家庭学習」の充実によって、「自ら進んで学ぶ」力を育む		

学校運営協議会 ⇄ 支援推進委員会 ⇄ 専門部会
(学校教育活動の参観と評価 地域行事への参加促進・参画意識の醸成 地域で活躍する場の提供)

学び部 学習支援 読み聞かせ サマースクール	地域行事部 ふれあいフェスタ	安全・安心部 にっこり見守り隊（交通安全・防災・防犯）
----------------------------------	--------------------------	---------------------------------------

家庭や地域との連携・協働による **人づくり**（地域社会の一員としての自覚と態度の育成）と **町づくり**（持続可能な「地域創造型の学校」への進化・発展）のための **協働**（模索）

《学校経営の構え》 子ども一人一人の「希望へのいっぽ（一步）」を大切にします

- ①全校職員で全ての子どもの「いっぽ（一步）＝よさ」を見つけます。
- ②安心ゾーンから「もう一步」を踏み出します。
- ③職員の働きがいが高めるために「もう一步」を踏み出します。

【危機管理意識改革】「報車相」→「報相『行』確報」へ

